



# 六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 11. 22

No. 26

## 図書集会 みんなで本を読もう！

15日（木）、図書委員会主催の「図書集会」が行われました。最初に、「本をたくさん読んだ人」の表彰がありました。六郷小学校では、「読書貯金」として、読んだ本の名前をファイルに記録しています。各クラスで、その冊数の多い人を表彰しました。

表彰の次は、各学年から一人ずつ前に出て「本の紹介」が行われました。

6年生の            さんは、「おしごと年鑑2016」という本を紹介してくれました。

たかさんのおしごとが、この一冊にまとめられています。将来の夢も決まるかも。日常で役に立つ？（疑問）や勉強の？（疑問）がたかさんのっています。むずかしい？（疑問）もありますが、低学年にも分かる？（疑問）がのっているので、とても見やすく、この本のいいところになっています。おもしろいので、ぜひ読んでみてね！



次は、全校から「好きな本」のアンケートを書いてもらった結果の発表でした。

(低学年)	1位「月のみはりばん」	2位「キャベツくん」	3位「どうぶつドド」
(高学年)	1位「絶叫学級」	2位「ラストで君はまさか！と言う」	3位「5分後に意外な結末」



### 読書する子に育てるには

私（校長）は読書が好きです。なぜ、読書をするのかといえば、それは簡単、「本を読むことが楽しいからです。」我が家は最近、東野圭吾にはまっています。あのストーリーの展開のおもしろさ、次々と起こる事件が少しずつ核心に迫る緊張感、そして何といても最後の予想もしないどんでん返しのごさ。読み始めると、もう止まらなくなります。

どうやったら、本を好きになるのか。私なりに考えてみました。

- ① いろいろな本に出会わせる。（本屋、図書館に連れて行く。親も一緒に本を買きましょう。）
- ② 読書し始めたら、できるだけそばにいて、子どもの言葉に反応する。  
「へえーそうなの！」「次はどうなるかな？」「お母さんも後で読みたいな。」
- ③ ゲームのルールを決め、家族全員で読書する時間を、1週間に30分でも作る。

読書をしない子を変えるには、「読書しなさい。」という指示だけでは伝わりません。親が少しでもがんばって努力することで、子どもにもその気持ちが伝わります。親がまずは変わることが大切です。

# 火災想定での避難訓練と地震体験

19日(月)、火災を想定した避難訓練と地震体験を行いました。避難訓練は、雨天のために避難場所を体育館として実施しました。全校児童が4分で避難することができました。その際に、子ども達には日本の火事の状況を伝え、おうちに人にも伝えるよう話しましたが、いかがだったでしょうか。

火事は1～3月の3ヶ月間に1万件以上も発生しており、1日に120件も発生していることとなります。火事の原因の1位は「コンロ」、2位は「ストーブ」、3位は「たばこ」だそうです。どうか、これからの時期、十分お気をつけください。下の写真の左側2枚は、校内の防火扉をくぐっている様子です。毎年、下学年の子ども達には体験させています。いざという時のためにも、大事な体験です。

地震体験は、写真にあるように地震体験車に来てもらって行いました。4人ずつ体験することができ、今回は「阪神・淡路大震災」の地震の様子を再現しての体験でした。ものすごい強い揺れに、子ども達も驚きの表情を浮かべていました。残念ながら、雨のために体験は5・6年生のみで終わることとなってしまいました。保護者の方にも呼びかけて何人かの方には体験してもらいましたが、体験できなかった保護者の方にはお詫び申し上げます。



# 理科の学習でつける力とは？

20日(火)、指導主事の先生2名をお迎えして、理科の授業研究会が行われました。今回は、5年竹組が授業を提示してくれました。

さて、理科の学習では、どんな力を見につけることが大事だと思いますか？「先生の言われた通り実験する。」「先生の指示に従って観察する。」といった力ではありません。簡単に言うと、「理科の見方・考え方を通して課題を解決する力」を身に付けることが大事です。具体的には、どういったことでしょうか。

- (例えば) 「食塩が溶ける様子など、事象を観察して、不思議を見つけ、課題を作り出す。」
- 「食塩は溶けるとなくなるのかなど、見つけた課題を解決するために、実験方法を自分で考え出す。」
- 「実験結果から、課題に対する答えを導き出す。」

このような力をつけるためには、単に実験させるだけはいけません。食塩が溶ける様子をていねいに観察させながら、課題を見つけさせたり、「食塩は溶けるとなくなるのか」という課題を調べる方法を、先生が与えるのではなく、自分達で考えさせたりする必要があるのです。そうすることで、「やらされる理科」から「主体的に取り組む理科」に変わっていくのです。



授業を参観くださった千畑小学校の先生から、次の感想が届きました。

子ども達がとても意欲的に取り組んでいる姿が印象に残りました。一人ひとりが自分の考えをもっているからだと思います。実験にもグループ全員で協力して取り組んでいて、学級の雰囲気がいいなと思いました。それは、先生が一人ひとりを受け入れ温かく接していて、児童の言葉を大切に扱っているからだと思います。実験方法も、児童の考えを生かしたものになっていたのも、主体的に取り組むことができたのではないかと思います。(中略) 予想していたのと違う結果が出たときに、そのままにせず立ち止まって、グループ全員で原因を検証する姿がとてもすてきでした。これからの授業の中で、「導入(単元の)→問題作り」と「予想を立てること」を大切にしていきたいと思います。たくさん勉強になりました。ありがとうございました。